

第1回「FP&A人材フォーラム」 対面交流会を開催

—企業価値向上を担うFP&A人材の育成と、実務家ネットワークの構築へ—



2026年9月19日、IMA日本支部とCPAエクセレントパートナーズは、新宿・CPASSラウンジにて、第1回「FP&A人材フォーラム」対面交流会を開催しました。

本フォーラムは、日本企業における経営管理の高度化と企業価値向上に向けて、FP&Aに関する実務知の共有、人的ネットワークの構築、キャリア形成支援を推進することを目的としています。

当日は「FP&A人材育成の必要性和、本フォーラム発足に込めた想い」をテーマにしたトークセッションに加え、今後の活動方針や分科会の紹介、参加者・委員による交流が行われました。

企業価値経営を「実行」するFP&Aへ

トークセッションでは、2014年の「伊藤レポート」公表以降に進んだガバナンス改革・企業変革の歩みを振り返りながら、日本企業が直面する課題について議論しました。

日本企業では資本効率を意識した経営が浸透しつつある一方、欧米企業と比較すると、収益性や成長投資の面では依然として課題が残されています。コスト削減や投資抑制に偏るのではなく、中長期的な成長に向けて、人的資本、DX、GX、無形資産などへ経営資源を再配分していくことが求められています。

そのためには、経営と事業部門の間に立ち、戦略をKPI、計画、予測、業績評価、意思決定へとつなげるFP&Aの役割が欠かせません。

FP&Aには、単に数字を集計・報告するだけでなく、事業の変化を読み解き、将来の選択肢やリスク・機会を提示する「経営のビジネスパートナー」としての役割が期待されています。



会社の枠を越えて、実務知を共有する

FP&Aを日本企業に広く定着させるためには、各社が個別に取り組むだけでなく、業界や組織の枠を越えて、実践事例や課題を共有する場が必要です。

本フォーラムでは、今後、次の3つを活動の柱として展開していきます。

1. 原則2か月に1回の対面交流会
2. Slackを活用したオンラインコミュニティ
3. テーマ別分科会による継続的な知見共有

Slackコミュニティには、以下の3つの分科会を設置しています。

- **FP&A実務のノウハウ共有**
FP&Aのプロセス、組織、KPI、テクノロジーなどについて、成功事例だけでなく、現場で直面した課題や試行錯誤も共有します。
- **FP&A人材のキャリア相談**
FP&Aへのキャリア転換、社内ローテーション、メンター、転職など、FP&A人材のキャリア形成に関する相談や知見共有を行います。
- **USCMA資格・質問相談**
USCMAの学習・受験に関する質問や最新情報を共有するとともに、その知識をFP&AやCFOの実務にどう活用するかを考えます。

参加者には、興味のある分科会への参加、自己紹介、質問・意見の投稿を呼びかけました。委員と会員が双方向に交流し、実務上の悩みを安心して相談できるコミュニティを目指します。

多様な経験を持つ124名が参加

フォーラムには、現役のFP&A担当者、経験者、FP&Aへのキャリア転換を検討する方など、幅広いバックグラウンドを持つ124名が登録しています。

このうち、現役または過去にFP&A・管理会計・事業管理の実務を経験した方は74名、FP&Aに関心を持つ方は40名です。また、会計系実務の経験が10年以上の会員が全体の約4割を占め、USCMA保有者も38名に上ります。

所属先も、非上場企業、東証プライム上場企業、外資系企業、大学・研究機関など多岐にわたり、人材・教育・コンサルティング、IT、製造業をはじめとする幅広い業界から参加しています。

こうした多様性を生かし、企業や業界を越えて知見を交換できることが、本フォーラムの大きな特徴です。

教育・研修と知的資産の形成へ

当日は、今後の構想として、FP&Aを教える人材を育成する「Train the Trainer」の取り組みも紹介されました。

企業向け研修の開発・実施を支援するとともに、大学・大学院におけるFP&A教育の充実にも貢献していく方針です。

また、伊藤邦雄先生の著書『企業価値経営 第3版』を題材にした全6回のオンライン読書会も計画しています。

読書会では、企業価値経営をFP&Aの日常業務へ翻訳することを目指し、以下のテーマを取り上げる予定です。

- 企業価値経営とFP&A
- 分析から経営意思決定へ
- 企業価値評価・資本コストとFP&A
- 事業ポートフォリオ・M&AとFP&A
- 無形資産・人的資本・非財務KPIとFP&A
- 企業価値創造を実践するFP&A

各回の議論をDiscussion Noteとして整理し、最終的には、FP&Aの役割、必要能力、組織設計、経営プロセスへの提言として発信することを目指します。

交流から、新たな実践へ

トークセッション後には、代表委員・委員による自己紹介と懇親会が行われました。企業、大学、専門分野の異なる参加者が、それぞれの経験や課題意識を共有し、活発な交流が生まれました。

第1回の開催を通じて、「FP&Aの力で日本企業の企業価値向上に貢献したい」という共通の想いを持つ仲間が集まる場として、本フォーラムがスタートしました。

今後も、対面交流会、Slackコミュニティ、分科会、教育・研修活動を通じて、FP&Aの実務知を蓄積・共有し、日本企業におけるFP&A人材の育成と社会実装を推進してまいります。



次回開催

第2回 FP&A人材フォーラム対面交流会

- 日時：2026年11月24日（火） 19:00～21:00
- 会場：CPASSラウンジ
- 登壇：株式会社リクルート 三木久生氏
- 内容：リクルートにおける人材育成、参加者からの質疑応答など

※US-CMA資格保有者、US-CMA資格取得を検討している方及びIMA日本支部会員は参加資格がございますので、奮ってご参加を頂けると幸いです。

※参加方法などの詳細は、[フォーラムページ](#)をご覧ください。